質問票の構成

■質問票構造

BDHQ シリーズは自記式食事歴法質問票です。自記式とは、回答者自自身が回答を記入することを言 います。食事歴法質問票とは、食品の摂取頻度に加えて、調理法や食行動なども同時に尋ねる質問票の ことを言います。

各質問票は A4 で 4 ページです。BDHQ のサンプルは以下となります。



BDHQ 質問票 P.1

P.2

P.3

P.4



あなたは、この1か月のあいだ、以下の食べ物をどのくらいの経度で食べていましたか? ちっともあてはまる日巻もひとつ選んで、~を犯入してください。 | STATE | STAT 54-20 Min 20 A



n	を使った料理(の)	ム・ソーセージなど	CORNIGLE	622				
株内・ステーキー グリル	たートツースなど 活風の転程	銀行物でんぷら 文章一人数 程度の個	som	和集の数 どんぶ 汁物・2	180			1
NOTIFIED AND THE REAL PROPERTY.	WILDING E	RETURNAL L	9 H 2002 E	1 8 H	19861 h 198			ezuse 4
Mr-oil	81-00	A 125	M1-101	1 mer-		v	ŧΩλ	とつ組んで、 してください
B 82-301	Dav-m	B 80-111	81-101	Ban-				用や原用(C
Hames	Buses	Hause	Hause.	Fian		h		BHD IS
R replace	8-93-0	8-35-6	8-125-12		dest	Б		4.28-13-1
8.6	使いた料理など	50-AU-#4	861]		- 5	0.81	5.40 (05/2)
おしみ・すし 定金一人町 程度の費	men	東京・銀物・ 対象・銀打	てんぷら・強け負 宣音ー人前 程度の量	4		-8		R-SSHE
N PERMIT	NO DESCRIPTION AND DESCRIPTION OF THE PERSON NAMED IN COLUMN 2 IN	A FEMALE	No in particular	1 .	MMO	2-7-96	1.	Brosen
Daniel .	0.1111	Daniel	9010			C#U		ち食とはべて
B1-40	B1-40	M1-40	31-40		1424			Bit
M1-381	B2-101	RU-316	#1~III	\Rightarrow	1890			91,360
D # III	9111	am	Bill .		11-13			MEC CEP J
THE R	- 国田田高	東田市園	非洲北 里		180			95.8510
A-101-C	\$-155-15	8-123-17	A-030			PRESS-		B1-0
	事のときに増うしょ 構度は	80-y-X	RECESTAR			小し着をなべる 人の着は	ė,	215874
767		Teores.	Trompe			SECOND.		Distribution in
200	e E	leese	- BENEFIT	181	300	150001-80	- 6	eeg.
- Dec	282	ant	DISTRICTS		inn	to com	Е	4-99
100	- WHEEL]eeson	D 8 (013) (0	91,617	- na-	11101113		4400
200	timbul-	Introde.	Teacution.	drift.	nan	ation-one		Section 2
A 90 / 1	CRITERIO		Bacas	10.71	de la la			
この1用種でも:	たちよく食べたき	物を描い出して、	ちってもあて	U# 601	SEDET	BAT. V	#EA	いてください
その後の名 みかんなどの 物格からかり類	PRINCION PRINCIPA	14PC	この19月間 労養補助会員 使いました。	10	82. 87.50	80. x1		この被性能
Termus.	Tanana	Tarrent	Tanima		置的に	物様のも	er.	BARDAG
Harm	Hann	Hann	Hann	2.4	ましたか	LTUE:		-
B1-411	B1-01	201-010	B1-40	101] ste		383
B12~501	BI-SI	N1-18	30-10	D:	MALES.	Dien		=
Dane.	THE .	E11	THE REST		1998			=
THE R	- annea	第100年度	Tante a		TEUN	-		500.

それぞれ以下のような質問から構成されています。

BDHQ 質問 95 項目

質問	内容	項目数	掲載頁
個人特性	ID(3項目)、妊娠週、授乳有無、性別、生年月日(4項目)、今	15	P.1
	日の日付(3項目)、身長、体重		
食品摂取頻度と量	52種類の食品の摂取頻度または量(お酒: 6項目)	53	P.2,3
食行動	コーヒー・紅茶に入れる砂糖、玄米・胚芽米等を混ぜるか、	21	P.3,4
	肉・魚の調理方法(9項目)、お肉の脂身、麺のスープ、家庭		
	の味付け、食事中に使うしょうゆ・ソース(2項目)、外食定食と		
	比べた量(2項目)、季節によって食べ方がちがう食べ物(3項		
	目)		
その他	朝ごはんの頻度、食べる速さ、栄養補助食品の使用、食習慣	6	P.4
	を変えたか、専門家の食事指導の有無、質問票に答えたひと		

BDHQ15y 質問 101 項目

質問	内容	項目数	掲載頁
個人特性	ID(2項目)、性別、生年月日(3項目)、今日の日付(3項目)、	11	P.1
	身長、体重		
食品摂取頻度と量	63種類の食品の摂取頻度または量	63	P.2-4
食行動	お茶碗の種類、肉・魚の調理方法(9項目)、お肉の脂身、鶏	17	P.3,4
	肉の皮、麺のスープ、家庭の味付け、季節によって食べ方が		
	ちがう食べ物(3項目)		
その他	人間がに自たにもとくと対 アファルカへ前というの人人へい	10	P.1,4
	養補助食品(サプリメント)の使用、食べる速さ、噛むか、虫		
	歯、アレルギー、食習慣を変えたか、専門家の食事指導の有		
	無、		

BDHQ3y 質問 101 項目

質問	内容	項目数	掲載頁
個人特性	ID(3項目)、性別、生年月日(3項目)、今日の日付(3項目)、	12	P.1
	身長、体重		
食品摂取頻度と量	61種類の食品の摂取頻度または量	61	P.2,3
食行動	肉・魚の調理方法(9項目)、お肉の脂身、鶏肉の皮、麺の	16	P.3,4
	スープ、家庭の味付け、季節によって食べ方がちがう食べ物		
	(3項目)		
その他	質問票に答えたひと、運動・クラブ活動、食事の頻度、野菜	12	P.1,4
	は、お腹がすいたというか、栄養補助食品の使用、食べる速		
	さ、噛むか、虫歯、アレルギー、食習慣を変えたか、専門家の		
	食事指導の有無、		

これらの質問に対する回答を用いて、回答者の食品摂取量と栄養素摂取量が計算(栄養価計算)されます。算出される食品数は以下のとおりです。算出される栄養素はおよそ 100 種類あり、現在も随時更新(増加)中です。

BDHQ で算出される食品数

	食品摂取頻度 からの算出	食行動からの算出	合計
BDHQ	52食品	6食品:コーヒー・紅茶に入れる砂糖、食事中に使うしょうゆ・ソース、麺スープ、調理食塩、調理油、調理砂糖	58食品
BDHQ15y	63食品	4食品:麺スープ、調理食塩、調理油、調理砂糖	67食品
BDHQ3y	61食品	4食品: 麺スープ、調理食塩、調理油、調理砂糖	65食品

その結果の一部を用いて、個人結果帳票が作成されます。

■質問項目の特徴

BDHQ で尋ねている食品は、過去に行われた食事調査で高い頻度で摂取されていた食品、さらに、BDHQ の基になった DHQ を用いた食事調査で高い頻度で摂取されていた食品から選定されています。類似の栄養素構成をもち、食べ方も似ている食品は、ひとつの質問にまとめられています。類似の食品でも、栄養素含有量が大きく異なるものは別々に尋ねるようになっています。例えば、低脂肪牛乳と普通脂肪牛乳、脂の乗った魚と脂の少ない魚、各種野菜が別々の質問になっているのが具体例です。特に、生活習慣病に関連することが知られている栄養素の摂取量を知る上で欠かせない食品に注目した食品の選択を行っています。そのため、他の類似の質問票と比べて、野菜・果物、魚介類などの質問数が比較的多い、調理や調味に関する質問が定性的というよりも半定量的な尋ね方になっている、などの特徴があります。

ごはん(めし)とみそ汁の2種類は、1日に食べる量(杯数)を尋ねています。これは、この2種類の食品は他の食品に比べて摂取頻度、摂取量ともに高く、各栄養素摂取量への寄与も大きいため¹⁾、週あたりや月あたりの摂取頻度とせずに、1日に摂取する杯数を尋ねるようにしたためです。

摂取量を算出する栄養素は、「日本食品標準成分表 2010」に収載されている栄養素を基本として、その他に、生活習慣病(特に、循環器疾患、骨折、がん)との関連が示唆されている栄養素や微量物質に関しても考慮しています。

【参考文献】

1) Sasaki S, Takahashi T, litoi Y, et al. Food and nutrient intakes assessed with dietary records for the validation study of a self-administered food frequency questionnaire in JPHC Study Cohort I. J Epidemiol 2003; 13: S23-S50.